田 崎 地 区
学習センターだより９月号

令和７年９月17日　発行

鹿屋市川西町３６０３－１
電話・ＦＡＸ 0994－41－5066

田崎地区学習センターは「た 高め合い　さ 支え合い　き 絆を広げる　学びの館」

【夏の子ども教室（短期講座）】

◆８月18日（月）【高校生とつくろう木工作品】

受講生は、鹿屋工業高校の生徒から工具の使い方や作品の作り方について教えてもらいながら、楽しく木工作品つくりに挑戦していました。受講生から「高校生のお兄さんやお姉さんと一緒に作れて楽しかった。」などの声が聞かれ、参加された保護者からは「高校生の教え方がとても良かった。」などの感想をいただきました。

◆８月19日（火）【勾玉つくり】

受講生は、勾玉用の石を紙やすりで削るのに苦戦し、根気強く形を整えながら削っていました。中には、思いどおりの形にできずに、石がどんどん小さくなっていく受講生もいました。

◆８月23日（土）【親子料理教室『ジャムを作ろう』】

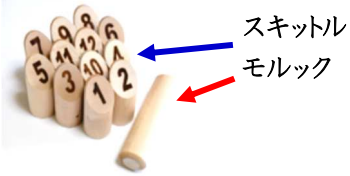
親子で、ブルーベリージャムと桑の実のジャム作りをしました。高温の料理に苦戦しながら親子で協力して楽しく２種類のジャムを作っていました。出来たジャムは、瓶詰めをしてラベルを貼り完成しました。出来立ての２種類のジャムを試食した親子から「初めて、桑の実のジャムを食べましたが、とても美味しかった。」「ブルーベリージャムも好きですが、桑の実のジャムはもっと好きです。」などの声が聞かれました。

【 夏休み期間中の寺子屋 】

【 りりし田崎塾 】

８月４日（月）に、『モルック』の体験学習をしました。モルックとは、フィンランドが発祥地で、番号のついた 12 本のスキットルにモルックと呼ばれる棒を３～４m離れた場所から投げて、スキットルを倒した結果によって合計５０点ぴったりを目指すゲームです。

市の市民スポーツ課職員の指導のもと、塾生と指導者を５チームに分けて、５０点を目指し、モルックの競技をチーム対抗戦で行いました。狙ったスキットルが倒れなかったり、思いがけないスキットルが倒れて、ちょうど５０点なったチームもあり、会場は大声援や大歓声で賑やかでした。塾生から「楽しかった。また、モルックをしたい。」などの声が聞かれました。



【 かわひがし塾 】

８月 25 日（月）に、塾生２人の保護者などと指導員が、田崎地区学習センターで『夏の絶品スイーツ白玉パフェつくり』の体験をしました。塾生たちは、白玉を丸くこねたり、果物をカットしたりするなど積極的に取り組んでいました。それぞれ個性のある盛り付けをして、オリジナルのパフェが出来上がり、塾生は「美味しい、美味しい」と言いながら嬉しそうに食べていました。

【 町内会の夏祭り 】

８月３日（日）に、川東町内会の第２０回川東町夏祭りが、川東多目的運動広場で開催されました。舞台では、舞踊や川東消防団員による踊り、親子による三味線演奏とカラオケによる歌声の披露などが次から次へとありました。会場内では、川東名物焼き鳥や川東親子会の『縁日コーナー』などもあり、昨年を上回る来場者で大賑わいでした。

【 田崎校区のばあちゃん家食堂（子ども食堂）】

８月 21 日（木）に、【ばあちゃん家食堂】（子ども食堂）が、田崎校区内の工業団地にある『日本モレックス合同会社鹿児島工場』の広い社員食堂で開かれました。

『日本モレックス合同会社鹿児島工場』では、日ごろから地域貢献の一環として、社員の方々が、ボランティアで【ばあちゃん家食堂】の手伝いをされるなど交流を深められている中で、今回の企画が開催されました。

食事の前に、クイズ（会社は、どんな物を製造しているのかなど）やじゃんけん大会をとおして、児童と社員の交流を深めていました。この後、児童 40 人と『ばあちゃん家食堂』で、料理をされる方や世話役の方に社員食堂の心のこもった料理のふるまいがあり、みんな「美味しい、美味しい」と言いながら完食していました。帰るときは、みんなで社員の方や料理された方々にお礼を言い、お土産までいただいて嬉しそうに帰っていきました。